

子供たちが狙われています!

～ 児童がネット利用で実際に被害に遭った具体例～

CASE1～3は、全国で実際に発生した被害事例です。

CASE1 19歳イケメン大学生になりすました犯行

【犯行手口】

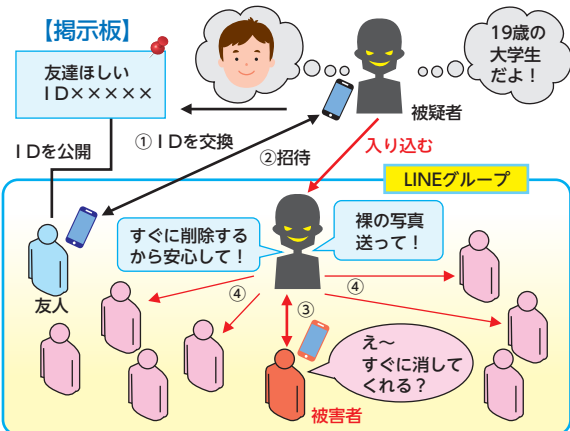
- 19歳の大学生モデルになりすました被疑者が、ネット掲示板に書き込まれた(公開された)LINEのIDを通じて女子中学生と知り合う(お互いにLINEのIDを交換)
- 女子中学生のLINEグループに招待してもらう
- LINEグループ内の女子中学生等から裸の画像を送信させる(これを繰り返す)

【被害実態】

- 約130人の女子児童が自分の裸の写真を送信させられる
- 裸の写真を送らされた小学生もいる

【検挙】

46歳の被疑者を児童買春・児童ポルノ禁止法違反により検挙



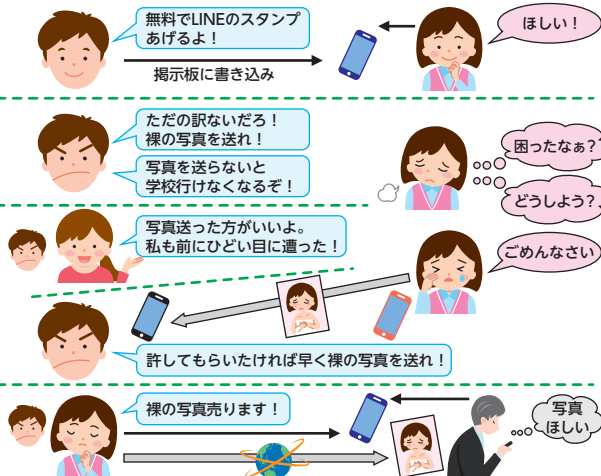
総計約1,600人の児童とやり取り

友達の友達は「知っている人」ではありません。あなたを狙う犯罪者かもしれません!

CASE2 女の子向けスマホゲームによる被害

【犯行手口】

- ゲームアプリの掲示板にLINEのスタンプ無料提供を呼びかける
- 無料提供の呼びかけに応じた女子児童とLINEでやり取りをする中で、裸の写真を撮って送るよう脅迫
- 別のスマートフォンを使い、同年代の女子児童になりすまして不安を煽るとともに、裸の写真を送った方がいいと要求に従うよう仕向ける
- 女子児童から送信させた裸の画像を元に、別の女子児童になりすまして第三者に提供(児童ポルノ画像が拡散)



【被害実態】

- 100人以上の女子児童が画像を送信
- 呼び出されて性被害を受けた女子児童も

【検挙】 被疑者を強制わいせつ、児童買春・児童ポルノ禁止法違反等により検挙

犯罪者に手の込んだ手口を使われると子供だけで手に負えないことがあります。親、先生、警察にすぐ相談を!